



平成 28 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 子 孝 夫  
( コード番号 4813 東証マザーズ )  
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 専 務 / C F O 室 伏 伸 哉  
( T E L . 0 3 - 6 8 5 3 - 9 0 8 6 )

## 剰余金の配当（見送り）に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月 15 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 28 年 1 月 31 日を基準日とする剰余金の配当については、これを行わないことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 27 年 11 月 30 日公表)	前期実績 (平成 27 年 1 月期)
基 準 日	平成 28 年 1 月 31 日	同左	平成 27 年 1 月 31 日
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭	未定	0 円 00 銭
配 当 金 の 総 額	—	—	—
効 力 発 生 日	—	—	—
配 当 原 資	—	—	—

### 2. 理由

平成 28 年 1 月期の期末配当予想につきましては、前回公表時点（平成 27 年 11 月 30 日）では未定としておりました。

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題の一つとして位置付けており、利益配分につきましては、内部留保の充実等に留意しつつ、事業展開の状況と各期の経営成績を総合的に勘案して安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。当事業年度におきましては、業績の早期回復へ向けた事業推進に努めました結果、個別業績において営業黒字転換を果たしたものの、連結業績では営業赤字が継続し、また、本社オフィス統合や拠点・事業の整理等の諸施策を実施した結果、個別業績・連結業績ともに当期純損失を計上いたしました。かかる事業状況及び繰越利益剰余金が引き続き欠損の状況にあること等を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら、配当を見送ることといたします。

業績回復へ向け、事業基盤確立への取り組みを迅速に進めていくことを経営の最重要課題に位置づけ取り組んでまいりますとともに、出来るだけ早期に株主の皆様へ安定的な配当を実施させていただけるよう鋭意努めてまいります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基 準 日	1 株 当 たり 配 当 金		
	第 2 四 半 期 末	期 末	年 間
当 期 実 績	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭
前期実績 (平成 27 年 1 月期)	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

以 上